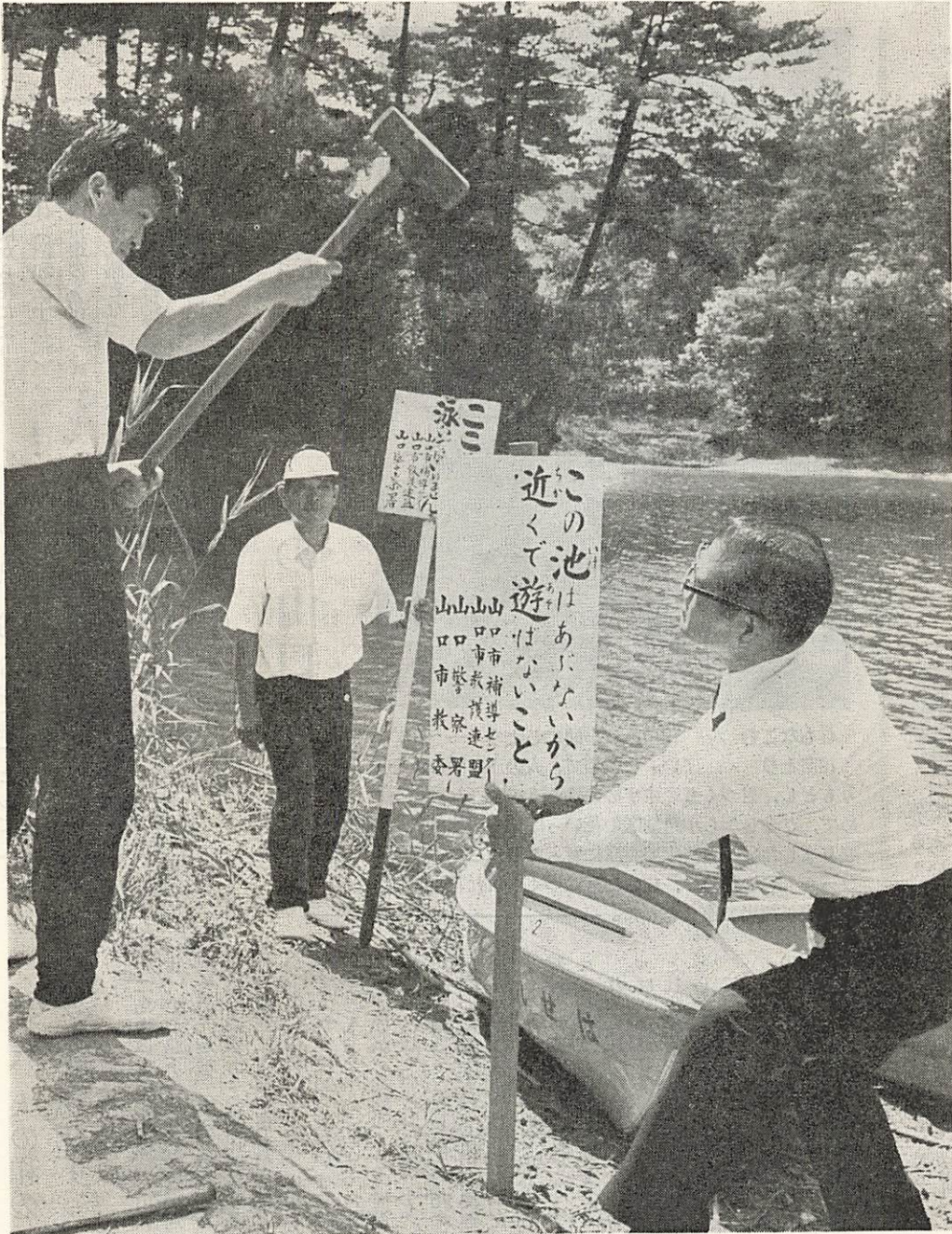


やまぐち

7/1



ここは、あぶない

水のシーズンが訪れ、子どもの水難事故をなくそう——と市補導センター、学校教護連盟の先生が、ため池や榎野川など三十か所に「水泳禁止」の立札を立てました。

(六月十五日宮野・初瀬の堤で)

事故が起きて後悔しても間にあいません。あそこにはさくをしておけばよかった。あんなところに冷蔵庫を放置しておかなければよかった——と。

子どもをとりまく危険な場所。たとえば工場のさくがこわれて中に入れる。ふたのない野っぱ。石どうろう

事故・起きてからでは間にあわない

が落ちかかっている。川やつつみにボートが放置してある。じゃり採取や、洪水で深みのできた川原——最近では新幹線や中国縦貫道の工事現場など。

子どもが危険なところで遊んでいたら声をかけて注意してやるとともに、市補導センターにご連絡ください。

おもな内容

- 北から南から花だより 2ページ
- 六月市議会定例会 3
- 「みんなの広場」——明るい社会をつくるために 4~5
- 東・西・南・北 4~5
- ひと・まち・くらし 6
- カメラルポ 7
- おしらせ 8

●北から南から花だより	2
●六月市議会定例会	3
●「みんなの広場」——明るい社会をつくるために	4~5
●東・西・南・北	4~5
●ひと・まち・くらし	6
●カメラルポ	7
●おしらせ	8

北から、南から花だより

よみがえる「花いっぱい運動」



「花いっぱい学校」

大歳小学校

テストピース（試験用コンクリート）を利用して作った花だんにアメリカンコスモスが咲きほこり、マーゴールド、サルビアが黒々と肥よくな土の中ですくすく育つ大歳小花だん。5・6年生が中心となって園芸部が生まれ、苗作りから花だんの手入れと、「花いっぱい学校」にしようとはりきっています。ことしからひとり一つの花を育てる「一鉢運動」も始めました。

『生徒が自分で工夫しての環境づくりや、弱い物をいたわり、物を見る目を養う—この実践の場として始めたのが花いっぱい活動です。ゆくゆくは学校をセンターとして地域にも広めたい』と、先頭に立って花いっぱいを取り組む吉岡校長です。

花が……… :
おつかれさん

吉永和子さん
二島上田



朝、ガス釜に火を入れ、急いで菊のところへゆきます。日ましに大きくなってゆくのを見ると何ともいえません。私の住む二島地区は、たいへん、花いっぱい運動がさかんで、菊、つつじ、盆栽、子ども会を中心とした各部落の花だんづくり、各家庭でのちょっとした花は見るからに明るさを感じさせます。

仕事から帰る道すじ、空地を利用して子ども会の花だんを見ると、きれいに咲いた花は、いきいきとした顔をして、おつかれさん、おつかれさんとあすの仕事のあと押ししてくれるような気がするのです。



心もなごむ 花のある小鯖にしよう——「花いっぱい」を通じて、人の「きずな」を取りもどし、村づくりをすすめてゆこう…こんな願いをこめて、ことしから小鯖地区の花いっぱいが本格的にはじまりました。共同苗床で立派に育ったサルビア、マーゴールド等の花苗を、17の部落につくられた花だんに、地区民が総出で植えました。

北の仁保、小鯖地区・「花いっぱい」を通じて、きれいな郷土と社会連帯づくり」を願い、ことしからはりきっています。
仁保地区では二十二日に十五の部落で、老人クラブ、婦人会子ども会などがこぞって、サルビアやマーゴールドなどを植え付けました。

「花の二島」から「花の山口」へ

北から、南から花だより——。山口国体（昭和三十八年）を契機に始まった山口市の「花いっぱい」も、その後、年々低調となってきた。ことし、市内各地区で、ふたたび「花いっぱい」が盛り上がりつつあります。それも、しっかりと、地域の

町づくり、人づくりの「柱」として「花いっぱい」の意義をふまえて取り組まれています。
「花の二島」のねがいが、いま各地区にひろがろうとしています。学校にも、職場にも家庭にも「花がいっぱい」の美しい山口をつくりましょう。

花と、人の和のある町づくり

二島地区・市の最南端。山口市、いや県下の「花いっぱい運動」の先進地。各部落の花だんには、四季折々の草花が咲き乱れ、家庭には菊の香りがただよい、朝日山には「ツツジの山」づくりがすすめられています。子ども会を中心が始まった花いっぱい、地域づくりの推進役を果たしているいい例です。

ほくの
ミニミニ花だん
井上裕彦君
中央四丁目
こん虫がすき、花がすき。自然がすきなのだ。方便山によく登る。「このご



小鯖地区は全部落に花だんをつくり十七日に植えました。平川地区・二十部落に新しく花だんをつくり、二十三、四日に、子ども会が中心になって植えました。同地区は湯田地区とともに青少年育成国民運動モデル地区に指定されており、花いっぱいを通じて青少年の健全育成をねがっています。



7月のこよみ

祇園祭り

- お天気 山口測候所によりますと「上旬は一時夏らしい天気となるでしょうが、つゆあけは平年並(19日頃)かやや遅い。7月の降水量は平年並よりやや多く、大雨の恐れがある」。
- 夏祭り つゆあけとともに夏祭り、夏休みに入り山口盆地の夏開き。山口祇園祭りが20日に幕明け(27日まで)。24日は「ちょうちん踊り」で繁華街はにぎあう。
- 夏休み 20日は小・中学校の終業式、21日からいっせいに夏休み。解放的な夏休みは交通事故、非行水濁などの事故が起こりやすく、十分に注意を。鴻南中と、鑄銭司小のプールが完成する(31日)。
- 農作業 つゆあけを待たずに、夏野菜の中耕、追肥、敷ワラを、病菌は葉の裏から入るので、葉剤は葉の裏によくかける。家畜は通風、採光によく気をつけ、予防注射を忘れないように。

俳句

上衣手に持ちて薄暑を弄ぶ
陶俳句会 五十部穆堂

たなばたのうた歌いつつ子等帰る
二島文芸クラブ 徳田マッセ

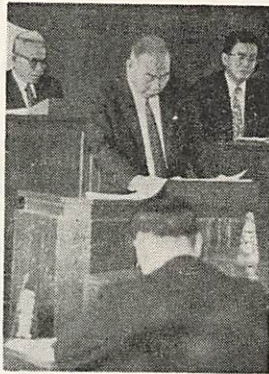
先づ父に供へてよりの冷やっこ
平川野菊会 石川やす子

刈ればすぐのびる夏草夫の留守
百村美代女

一億一千余 万円を追加 予算総額 五十九億九百万円

兼行市長・市政概況を報告

6月市議会開



市政概況を報告する兼行市長

六月市議会定例会は、去る六月十六日開会、二十九日までの十四日間の会期中開かれました。

一般会計に一億一千二百九十余万円を追加、予算総額は五十九億九百九十九万五千円となりました。

なお、兼行市長は、次のように、最近の市政の概況について報告しました。

- 災害復旧 昨年七月の豪雨災害は、補助対象や単独あわせて千六百六十件、金額にして十五億四千五百万円にのぼります。このうち四十七年度に実施したものは、土木災害で実施率三八割、耕地災害で一六割、その他六五割、全体では二八割の復旧です。本年以後に残されたものは九百余件十一億一千九百九十九万四千円です。早期完了につとめてまいります。
- PCB・水銀汚染問題 この重大問題は山口・嘉川漁協にも波及しており、県に対して善処方を申し入れておりますが、今後の状況に注目し処理してゆきたいと思っております。
- 新用途地域 七月中旬に開かれる県都市計画地方審議会の議を経て告示される予定です。
- 「特別工業地区」「特別業務地区」の決定等をこの審議会に提案ねがい告示いたす考えです。
- 山ダグランド跡地利用 去る六月五日に山口市開発振興審議会委員十四名に依頼申し上げ、六月十三日に開催された第一回審議会に跡地利用について諮問いたしました。
- 象頭山災害復旧 大内御掘象頭山の山くずれの復旧は、現状では本格的な復旧はむづかしい。応急工事を施行し、再災害の防止につとめることにしています。なお、訟訴問題は七月十二日に第四回判事が山口地裁で開かれる予定であります。
- 老人憩いの家 温泉を利用した浴場を主体に、老人の憩いの場として湯田児童文化センター西側広場に、鉄筋コンクリート平家建、建築面積四百四十九・二平方呎の施設を建設する計画をすすめて、すでに実施設計もおわる段階で、できるだけ早い時期に着工したいと思っております。なお、運営については現在検討中であります。
- 鶏肉処理大型共同作業場 同和事業として、三和町に一日処理能力三千羽の大型共同作業場

各地区に「土地運動協議会」設置

農地等売買・ご相談ください

最近の土地ブームの影響は山口市にも波及し、農地の転用売買や山林等の権利異動が激増しています。このことは農業生産にも影響をおよぼしています。市農業委員会では、農家の土地をたいせつにする運動をすすめており、すでに各地区に完成しました。

■庁舎移転計画 これについては、去る五月に教育学部払い下げ申請を提出しましたが、財源の起債決定に相当の期間を要し今年度は土地・建物の取得にとどめ、諸施設については来年度実施を考えています。

■摂津板紙山口工場建設 小鶴地区に建設予定の段ボール工場建設計画は去る六月十三日摂津板紙本社長から正式に進出の通知を得ました。本年八月着工し、四十九年四月操業開始の予定とされています。工場建物は約三千三百平方呎であります。

■「土地運動協議会」が、市役所出張所内に設置されました。今後、農家のみなさんが、農地や山林等の売却、権利の異動をされるときは、手付金を受けとったり仮登記をされる前に協議会にご相談してください。

市職員募集 (上級職)

山口市では、次のように上級職員採用資格試験を行いません。

●事務職 大学卒(来春卒業見込みを含む)で、昭和二十四年四月二日以降に生まれた男子。

●技術職 大学の土木工学科・電気工学科・衛生工学科・畜産学科学卒(これに相当する学科を含む)で、来春卒業見込みを含む)で、昭和二十二年四月二日以降に生まれた男子。事務、技術職とも短大卒を除く。

●受験手続き 七月三日から七月二十五日の間に市役所総務部職員課へ。申し込み書は職員課へ。出張所にあります。郵便で請求される場合は、返信料が申し込み書一部の場合四十円、二部の場合五十五円。

●試験 第一次試験は八月二十六日に白石中学校で教養と適性試験。第二次試験は第一次試験合格者に作文・面接、身体検査を行います。問い合わせは職員課へ。

同和対策推進

強調句聞

七月十日〜十九日

この句聞は同和問題の認識と理解を深めるために設けられたものです。

「兄き」と出合いのひろば

福祉センターでBBS
会員とあそぶ子どもたち



「ワイイ」「お兄ちゃん」「負けるな、負けるな」……子どもたちの明るい歓声が、広場いっぱいこだまします。子どもの健全な育成……明るい社会づくりを願うボランティアグループBBSが、毎月一回福祉センターで、若草学級のカギツ子や近所の子どもたちといっしょの「センター子ども会。」童心にかえって遊ぶ会員とのはだのふれ合いに「お兄ちゃん、お姉ちゃん」と、思いっきり甘えて子どもたちの顔はみんなうれしそう。

屋外紙しばい、引っぱり合っこ、紙のテープを切らないように走る電車ゴッコ、ドッチボールなどのゲームに、そこぬけにつき合ってくれる「兄き」との出合いの場——ここに、つゆ空を吹きとばすような子ども達のような顔があった。

よその子へもひと声を

七月のテーマ・明るい社会をつくるために



七月は「社会を明るくする運動月間」です。親と子の間ひとつとってみても、異常で悲劇的な事件の続発するこの頃です。信頼と愛情と、社会の一員としての責任感を回復した家庭、よその子へもひと声かけてやる社会連帯づくりに、みんなが考え、力をあわせ、実行する月としてください。

つゆ空をふきとばして

『おとな』の責任を果たしているか

ことしの運動方法として次の点を強調しています。

- ▽地域の青少年問題を話し合う
- ▽親と子が語り合う
- ▽愛の呼びけ

家庭や地域や職場、あるいはひとりの市民として、考えてみることに一例をとり上げてみます。

子ども会やPTAの集まりで健康的で安全な子どもたちの夏の生活を考える。

となり、いつもさびしそうなカギツ子や、ひとり暮らしのお年よりはいいか。

共働きで、子どもと接触する時間の不足を、どのようにして補っているか。その努力をしているか。

していいことと悪いことを、ちゃんといい聞かせているか。

高校や中学生のわが子が、夜遊びに出るのを黙認するようなことで「親」といえるか。

ガムの皮を道に捨てる子、交差点でふざけているよその子を叱ることができるか。

他人が、わが子を叱ってくれたことに、口に出して「ありがとう」と感謝できるか。

子どもを「家族の一員」として、仕事の分担、責任をもたせているか。

東 西 南 北

健康優良児

今年度の山口市健康優良児が決まりました。小・中学校男・女各三人づつのうち、吉佐大会に推せんされるのは次の四人です。

- 小学校男子 宮野 小平重武 宣君—身長一六一・一センチ、体一六六・二センチ、胸囲八三・八センチ、五〇斤走七・四秒。
- 小学校女子 小鯖小金沢理枝子—身長一五九・一センチ、体重四六・二センチ、胸七四・四センチ、五〇斤走八・一秒。
- 中学校男子 山大附属中田



中信次君—身長一七二・九センチ、体重六一・八センチ、胸囲八五センチ、五〇斤走七・二秒。

■中学校女子 白石中関岡みどり—身長一六三・七センチ、体重五七・八センチ、胸囲八一・〇センチ、五〇斤走八・七秒。

また、優良校では小学校が大蔵、佐山、嘉川小。中学校では、川西、宮野、大殿中が選ばれました。

このうち大蔵小、佐山小、川西中、宮野中が吉佐大会に推せんされます。

子どもの心身の健康に力をあわせましょう。

ご主人もニコニコ

「行ってこい」

佐山舞踊研究会

「舞踊のある日は、朝から仕事がかどるんですよ。これだけやとつたら、今晚舞踊に行けるってわけです。主人もニコニコしながら「行ってこい」と送り出してくれるんです」

と会員のAさん。仕事がかどり家庭円満。その上、自分を磨き「生きがい」も見出している——という佐山舞踊（日舞）研究会（世話人山下ユキコさん、会員二十三人）。

つどい

週火曜日と土曜日の夜、公民館で練習する。

また、新年互礼会や敬老会には欠かせない存在で、地区のみんなに親しまれています。

会員で、花見や忘年会なども楽しんでいます。

(写真は伊藤和子さん提供)



四十一年四月に発足、現在二つのグループに分かれて毎

ここに『家族』のよろこびが...

「二つが一つ」に

吉村家(湯田温泉二丁目) 吉村禎之(47)、久仁子(44)、尚子(40)、正(33)、協子(31)、理(8) 山領家(一) 山領タカ(70)、誠(69)、イマヨ(8)、一弘(8)、研二(6)。

下の写真は、この両家の夕食後のだんらんのひとつ。尚子さんが「はずかしい」ので欠けたのが残念。

吉村・山領家の「関係」は、吉村さんの奥さんの久仁子さんが山領誠さんのお姉さんということ、両家が「廊下つづき」の屋根の下ということだが……こんなことは別にめずらしいことではありません。ここに、タカさんを中心に「二つが一つ」になった「家族」その「喜び」と、

「星座」家庭新聞を深める、なごき



それを創り出してゆこうという「努力」と「誠実」さがあるということ。

まじりあい、助け合い

「星座」——四十五年春、「家族会議」で家庭新聞をつくろう」ということで始まったものが、この三月で十号になった。ガリ版刷り二十二ページという立派なもの。部数は八十部。親類縁者にも配布する。吉村、山領家の「みんなで十一人」の「年中まじりあい、助け合い、かくしごとをしなす」と「家族の泣き笑い」と成長の記録がびっしり。

「おなかちゃんこわい？」
A「こわいよ。おこらないけど、私の育て方が悪かった」つて泣き出すから
B「あれに一番弱いんだ」
A「おとうちゃんは？」
A「まじめで面白いと思う。ほくの尊敬する人だ」
B「少しうぬづられるけど。」

—メモ—
47年中の、山口市の少年非行のあらまし

●1日6人の少年を補導

罪を犯した少年	126人
不良行為少年	1,764人
交通違反少年	392人

●そのほとんどが盗み

126人のうち118人が窃盗。その他、殺人1、放火1、暴行1、傷害1、その他2。

●児童、生徒が多い

126人のうち小学生45人、中学生30人、高校生33人。

●デパート・スーパーで

盗みの場所はデパート・スーパー等で67人、路上14人、駐車場等で14人、一般住宅で12人。

昭和47年度「社会を明るくする運動」募金のご報告

●収入

募金	657,750円
同上預金利息	6,126円
合計	663,876円

●支出

山口県厚生保護協会々費	70,000円
募金取扱い事務費交付金	19,726円
山口分区保護司会交付金	574,150円
合計	663,876円

みんなの広場 8月のテーマ

夏休みを健やかに

健康的で、楽しい夏休みとしたいものです。夏休みの思い出、わが家のプラン、子ども会などでこんなことを計画している……といったことなど7月15日までにハガキまたは封書でお寄せください。

心温まる善意



すすんで親切ができ、また、素直に親切を受けることができるようになるれば、うるおいのある、住み心地のよい世の中になるのではないでしょう。

六月十三日に、四十八年度の山口市「小さな親切運動」推進大会が行なわれ、横断歩道橋を清掃している子ども会員や、車椅子を修理してあげたタクシーの運転手さん、通学路の補修をしてくれた七十九歳のお年よりなど、心温まる善意の人たちが、その行為を賛えられました。

まちかどで

小・中学生の通学路になっている自宅横の小路を毎日、せつせと掃除する、泉都町の筈井秀正さん(70)。

通学路を掃除する…筈井さん



ちが通る道じゃ……草が伸びて朝つゆにぬれるのはつらからうし、私も一日一回汗を流せば長生きできる」と毎朝六時頃から一時間、草刈りや道におしに精を出しています。このたび、この無償の善意に「小さな親切実行章」が贈られました。

東西南北

なんぎなこと...



天野綾子さん
下野小路中下

さかなが食べられんことはなんぎなことです。私しかな好きですが、新聞や、テレビでいろいろいいだしてから一週間ぐらいぜんぜん食べません。食べられんと思うとよけいさかなが食べられん。まあこれが生で食べるといけなくても、煮るか焼けばよいね。

とうなるもんです。娘の主人もまたさかな好きですが、公害検査器具を販売する仕事をしている関係で、さかなに対して慎重です。最近も買って食べるのですが、やはり不安ですね。いま

「やまぐち市民文化の会」が発会記念式

盛会だった記念事業

やまぐち市民文化の会(会長 田村幸四郎氏)の発会式が、去る六月十七日中央公民館で開かれ、今年度の事業計画など決めました。(写真)

事業としては、第一回の事業として、同日、市民会館大ホールで行なわれた「小林仁・海野義雄ジョイント・リサイタル」



が大成をおさめました。

十一月十四日に、文化庁移動芸術祭巡回公演の松竹大歌舞伎を行なうほか、日時が未定ですが地元音楽家演奏会、文化講演会を予定しています。

この会は、音楽や演劇を楽しみ、また講演を聞いたりして生活にうるおいをもたせ、名実ともに文化都市山口を築いてゆくことを目的に結成されたもので市民のみならず、どなたでも入会を歓迎しています(会費無料)。事務局は市民会館内にあります。

無料法律相談

七月九日(月)

十時~十五時

(九時三十分から受け付け 先着四十人まで)

中央公民館第一講座室

弁護士二名が相談に応じます。

借地、借家、金銭貸借：何でもお気軽にご相談してください。

「魂を失ったらおしまいだ」

とまち 暮らし 『農民』



竹内 勲さん

「米の時代」到来だが—
ふたたび「米の時代」到来—
「そう—米ほど密度の高い食物(単位面積から生産する食物で、養える人口)はないでしょう。世界の食糧の絶対量が不足し、いま「飢えの時代」を迎えようとしている。

しかし、農民がいったん、農業以外に目を向けたとき、ふた

たび農業に目を向けることはむづかしい。それは、放置された調整田をもとにもどすことのもつかしさの比ではない—
山口市名田島昭和開作西部落。穀倉名田島中の穀倉。四十八馬力、共同購入の大型トラクターを運転しながら、竹内さんが「ふたたび米の時代」の背景の「暗」の一面を指摘するとき、そこに、米ひとすじに生き

た男のことはの重さがある。

「夕暮れ農繁期」

昭和三年、父親の代に「二万円で入植(年賦償還)してから数年間続いた塩害、昭和十七年の大災害、戦後の強権供出、そして生産調整」と「さまざまな波をかぶってきた」。しかし「こんどの波がいちばん大きい。農民が「魂」を失なった。

出働きの生活の中から受ける精神的な疎外感、いらだちは、家庭だけでなく「村」そのものをだめにした。「子どもに対する思いやりがなくなった」(竹内さんは名田島公民館長。土方の人手をあつめて走り回るマイクロボス、出働きから帰る母親を、バス停に待つ子どもの姿が、人一倍身にしみる「立場」)

「竹さんこそ農民の中の農民(チングの専農Aさん)だが、その竹さん——二十年先：私の子が、果たして私を「養える」か。百姓を知らない。農家の子が百姓を知らない。だいたい一本といえどもほうかかっていてはでせん」

かつて、「人」で生きづいていた農繁期。

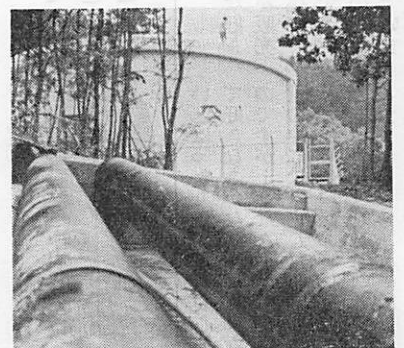
いま：大型トラクターのエンジンには響き渡るが「人」の多くは出働きから帰ったの「夕暮れ農繁期」—。

メモ ことし、山口市で農業に就いた青年は——二人。

配水をはじめた

吉敷配水池

夏場を迎え給水能力上がる



吉敷木崎に建設をすすめていた配水池が完成、六月九日から配水をはじめ、給水区域の調整をしてきました。

配水池の有効容量は一千四百立方メートル。水需要の多い夏を迎え、吉敷水源地の機能を十分に活用できます。真夏には、一日の水の使用量が三万立方メートルを超すことがあります。これで、特別の異変のない限り大丈夫です。

なお、配水管網の調整等で水の流れが変わり、さび水が出てご迷惑をおかけしましたことをおわびいたします。

ご連絡ください。

なお、午後五時以後、日曜祭日等は、これまでどおり水道局で受け付けます。

また、給水センを締めても水が止まらないときのパッキンの取りかえだけは、当分の間水道局で行ないます。

十分に注意を

家庭用浄水器

最近、家庭用浄水器がひろく市販されていますが、これの使用については次の点に十分気をつけてください。

- ・浄水器を使用すると残留塩素(消毒用)がなくなるおそれがあるので注意書きの指示を守る。
- ・長時間使用を中断していたときは、浄水器内の水を一度流してから使用する。
- ・故障したときには、ただちに取りはずす。

給水管の修理は水道工事組合へ

これまで、家庭の給水装置の修理は、水道局職員、指定業者で施工していましたが、七月一日から水道工事協同組合(中央四丁目②六五〇四)で受け付けます。(午前八時三十分~午後五時)。

給水装置の修理は、組合に



▲「一日一万歩」のタスキをかけて



▶心地よい汗をかいて歩け、歩け

歩くことは、ええですの

染るような緑と、心地よい夏うぐいすの声を聞きながら、ノハナシヨウブ(天然記念物)の自生地や涼味満点の鳴滝まで八キロを元氣よく歩きました。

「山口市万歩クラブ」は昭和四十年に発足、毎月一回例会を開き、名所や文化財を訪れて、体力の増進と郷土を知る一石二鳥のハイキングです。

山口万歩クラブ ノハナシヨウブを見物

もともと初歩的な運動「歩く」ことよって若さと健康を保とう……と、六月十三日「山口市万歩クラブ」会員八十人が小幡検畑へ「歩こう会」を行なっていました。



▲山中にひっそりと咲くノハナシヨウブに「ああ 歩いたかいたあった」



▲よもやま話とむすびの味がこたえられません



▲市教委、内田さんから史跡の由来を聞く(広昌寺で)

同和問題 を考へる

「ふるさとをかくす」ことを、父はけものような鋭さで覚えた

ふるさとをあらはれ 縊死した友がいた

ふるさとを告白し 許婚者に去られた友がいた

吾子よ お前には 胸張ってふるさとを名のらせたい

瞳をあげ 何のためらいもなく

「これが私のふるさとです」

と名のらせた

この詩は、光市の詩人丸岡忠雄さんのものですが、この詩から皆さんは何を学ばれるでしょうか。

「ふるさと」——それは人それぞれの差はあれ、誰にとってもかけがえのないものであり、えいえい尽きることのない思い出ともなつたかしく温かいものであるはずだ。

「あなたのふるさととは」とたずねられた時、私たちは胸を張って「山口市の〇〇です」と「ふるさと」をほこるでしょう。

しかし同じ日本人、同じ山口市民として生まれながら、生まれた土地、生まれた地区

それでも差別は生きている (1)

がたまたま部落と呼ばれているというだけで、ふるさとを「おおいにかくさなければ、就職も結婚も、はては住所もうばい去られてしまう人たちがいる、しかもそれを許している社会が今なお存在しているのです。

このことから、民主主義の旗を掲げ近代市民国家といわれる日本で、市民としての権利がふみにじられ、自由平等についての問題が百年も前の江戸時代と同じような形で残されていることがおわかりいただけると思います。

同和問題は、人類が生き続けるかぎり変ることのない原理である人間の自由と平等に関する問題であり、日本国憲法によって保障された基本的人権にかかわる課題なのです。

私たちは、封建社会のなごりやしくみを鋭く見つめ、この社会悪を払いのけ、あつてはならない差別の長い歴史に一日も早く終止符をうたねばなりません。差別が、社会悪があるかぎり、私たちはそれをなくする側の人間でなければならぬのです。同和問題に中立の立場はありません。市民ひとりひとりが自分の問題として連帯感を深める中で、解消への努力を集めましょう。

乳児検診を受けましょう

月日	地区名	受付時間
7月6日	下野小路福祉センター	13.30~15.00
7月10日	大内公民館	"
7月11日	二島	"
7月12日	宮野	9.30~11.00
7月13日	鑄銭司	13.30~15.00
7月16日	吉敷出張所	"
7月17日	小鯖公民館	"
7月19日	名田島	"
7月20日	陶	"
7月23日	大歳	"
7月24日	佐山	"
7月30日	山口保健所	"
7月31日	市議会議場	"
8月23日	仁保出張所	"
8月24日	平川公民館	"
8月29日	嘉川	"

該当者 生後1か月から1年1か月までの乳児

電気による事故を起こさないように

電気による事故は取り返しのつかない事故となります。次のようなことに注意してください。

- 電線や電柱のまわりで模型飛行機を飛ばさない。
- 切れてたれ下がった電線に絶対にさわらない。
- ぬれた手でスイッチや電気器具にさわらない。
- 電線近くの樹木の伐採は前もって電力会社に連絡を。無料でご相談に応じます。
- 自分で電気工事をするのは危険です。必ず電力会社が電気工事に相談してください。

国家公務員採用試験

<中級一短大・高専卒程度>~受験資格者は昭和21年4月2日~29年4月1日生まれのもの、受け付けは7月10日から19日まで。

<初級一高校卒程度>~受験資格は昭和25年4月2日から31年4月1日までに生まれたもの。ただし税務については昭和28年4月2日から31年4月1日までに生まれたもの。

受験手続き(申し込み用紙請求先、問い合わせは)は初中・初級とも人事院中国事務局(広島市上八丁堀6番30号広島合同庁舎2号館)

お知らせ

セイタカアワダチソウを刈りましょう

あき地や川土手などにセイタカアワダチソウがぐんぐんと背を伸ばしています。

セイタカアワダチソウは、草たけが一二尺、他の草を寄せつけないほど伸び十月頃には黄色い花を多数つけますが、花粉はのどを刺げきしぜんそくなどの原因となります。今のうちに地域ぐるみで刈り取り、除草剤を散布しましょう。

急激に繁殖し、美しい日本の野の草を駆逐する帰化植物のセイタカアワダチソウ。(樫野川原での刈り取り)



ツベルクリン反応検査とBCG接種

地区名	ツ反	BCG	時間	会場	
宮野大	野	7.11	7.13	13:30~15:30	宮野出張所
	歳	7.11	7.13	13:00~14:00	大歳
	島	7.11	7.13	13:30~15:30	名田島公民館
	内	7.12	7.14	13:30~15:00	鑄銭司
平川	川	7.17	7.19	13:30~15:00	大内出張所
	陶	7.17	7.19	13:00~15:00	平川
	川	7.17	7.19	13:30~15:30	陶公民館
	山	7.17	7.19	13:30~15:30	嘉川
嘉佐仁	保	7.17	7.19	13:30~15:30	佐山
	保	7.18	7.20	13:30~15:00	仁保出張所
	秋	7.18	7.20	13:00~15:00	吉敷
小鯖	二	7.24	7.26	14:00~15:00	小鯖公民館
	島	7.25	7.27	13:30~15:00	二島

乳幼児を結核から守るため、必ず受けましょう
結核予防法により年1回行なっています
対象者は生後6か月~30才未満のかた
料金は無料

おねがい

県庁舎改築で土を運搬

新しい県庁舎建設工事の第一期工事の議会棟の建設工事が11月から始まります。このため7月1日から11月10日まで県庁裏の香山の一部を掘り、この土の運搬が行なわれます。

運搬コースは、往路が県庁から博物館前を通り、早間田から9号線を女子短大裏へ、復路は9号線を市役所前から、市営バス県庁回り線を通ります。

時間は午前8時30分から午後4時30分、同5時45分から7時まで。一日の運行台数は約70台。

交通事故防止のためラッシュ時の運行を避け、交通指導要員の配置、安全教育の徹底等、業者と協力して配慮されますが、市民のかたのご協力をお願いいたします。

■県庁前バス停一部移動 県庁舎改築工事にともない、7月1日から市営バス県庁前停留所のうち日赤経由バス停が30ほど野小路寄りに移動します。

山口女子短大夏季大学開放講座

- 開設期間 7月13日から7月31日までの火曜・金曜日に当たる日。(6回) 13.30~16.00
- 開設場所 山口信用金庫本店3階会議室
- テーマ 「主婦と教養」
- 申し込み 7月10日までに申し込み書に聴講料500円(全講座分)を添えて、山口市桜島3丁目3番1号山口女子短期大学学生部へ申し込みください。

■消防設備士試験 8月22日(筆記) 9月23日(実技)で行なわれます。7月25日までに消防本部へ願書を提出してください。

■保母養成講座 希望者は7月10日までに県庁児童家庭課内 山口県保育協会へ。

自衛官募集

18歳以上25歳未満の日本男子、くわしいことは、市民課か各出張所へ。

七月の休日当番医	外科系				内科系				診療時間 十分 午後五時三十分
	日	病院名	住所	電話	病院名	住所	電話		
1	外河脳外科	緑町	3-1333	牧野医院	三の宮	2-0885			
8	吉永外科	旭通り	2-3263	山県医院	中市町	2-0206			
15	鴻城病院	後河原	2-0166	湯田医院	湯田温泉1	2-1739			
22	坂本整形外科	円政寺	2-4091	吉松内科	御掘	2-7397			
29	済生会山口病院	緑町	2-2430	尼崎医院	中央3	2-1771			

暑い、だるい...いねむり運転が死をまねく

「社会を明るくする運動」

出演 保護司 中山益恵さん

放送 七月五日午前七時十分、十一時三十分

テレビ山口放送から

市役所